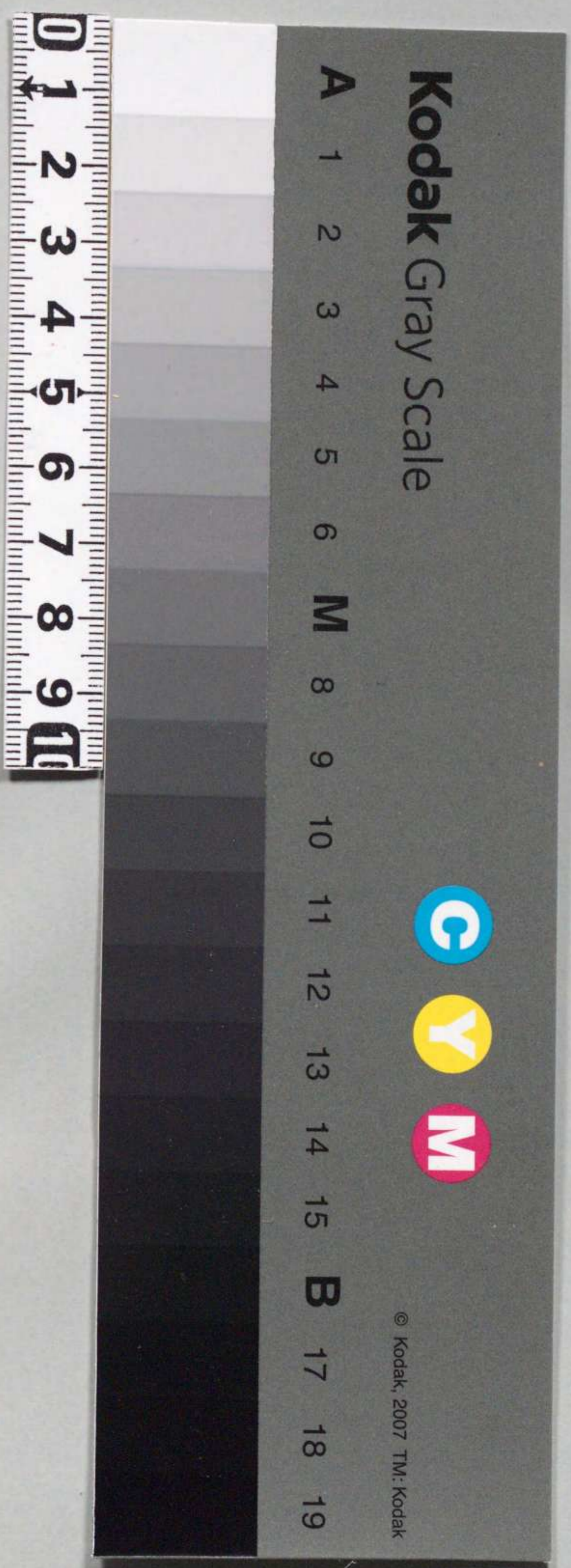
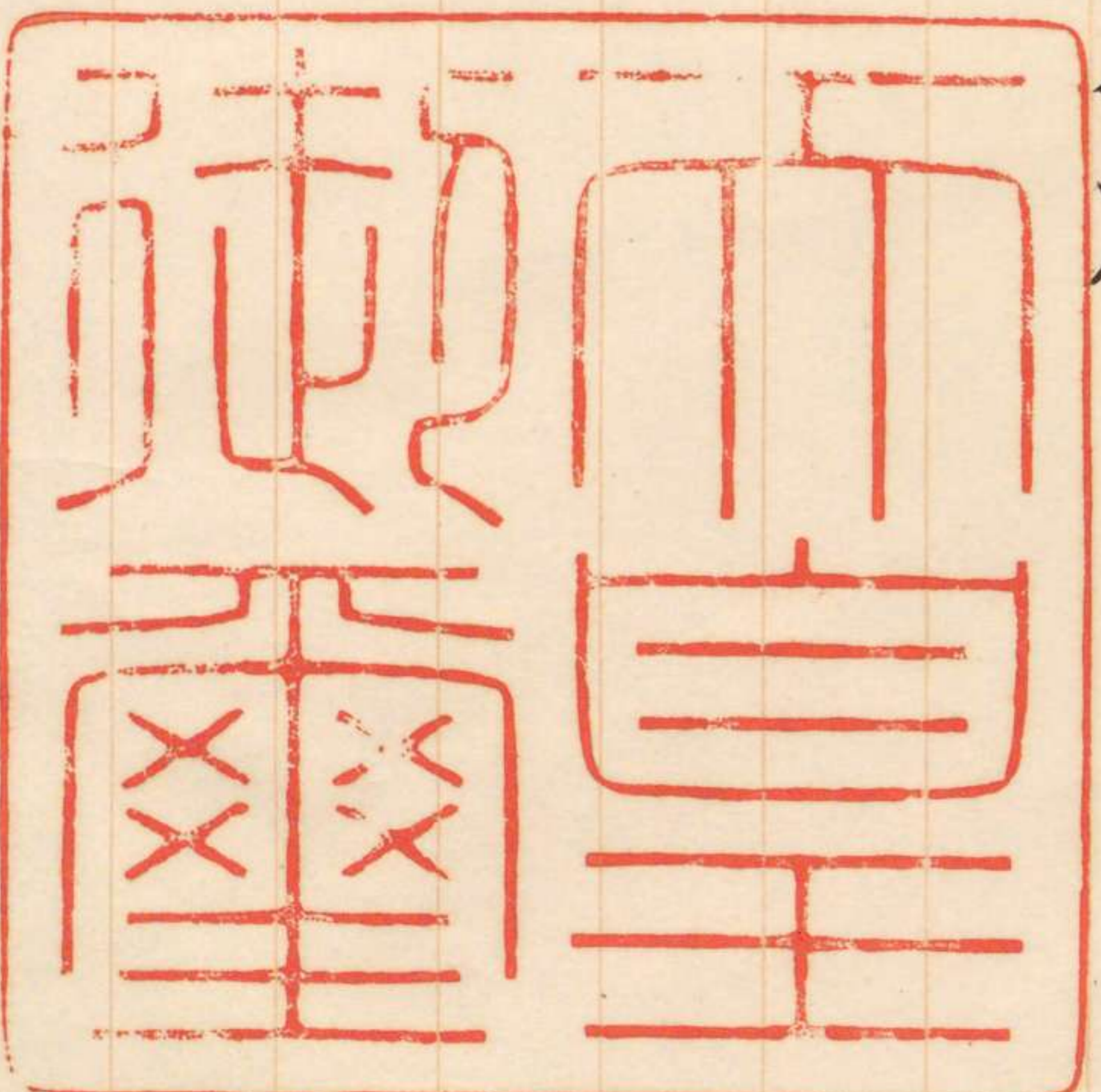


法律第百二十七号



朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル阿片法ヲ裁
可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治三十年三月二十七日

白

蜀

内閣總理大臣伯爵 松方正義
内務大臣伯爵 樺山資紀

法律第二十七號

阿片法

第一條 阿片ヲ製造セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 阿片製造人ハ毎年十二月二十日迄ニ其ノ製造シタル阿片ヲ政府ニ納付スヘシ

前項ノ阿片ハ政府ニ於テ試験ヲ施シ其ノ莫兒比涅含量所定ノ度ニ適スルモノニハ賠償金ヲ交付シ其ノ不適品

ハ無償ニテ焼却ス

第三條 阿片ハ政府ニ於テ醫藥用品ニ
限リ封緘ヲ施シ之ヲ賣下クルモノト
ス

政府ノ賣下ケタル阿片ノ外ハ賣買授
受所有又ハ所持スルコトヲ得ス

第四條 第二條ニ依リ賠償金ヲ交付ス
ヘキ阿片ノ莫兒比涅含量及賠償金額
竝ニ第三條ニ依リ賣下クヘキ阿片ノ
價格ハ内務大臣之ヲ告示ス

賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫兒比涅
含量ヲ増加シ又ハ賠償金額ヲ低減セ
ムトスルトキハ一箇年以前ニ告示ス
ヘシ

第五條 阿片ハ地方長官ヲシテ其ノ管
内藥劑師藥種商中相當ノ人員ヲ限リ
卸賣人ヲ指定シテ賣下ケシム

第六條 醫師及藥品營業者ニ於テ阿片
ヲ要スルトキハ數量竝ニ住所氏名年
月日ヲ記シ調印シタル證書ヲ以テ卸

賣人ヨリ購求スヘシ

醫師及製藥者ハ阿片ヲ藥劑師藥種商ヨリ購求シ又ハ藥劑師藥種商互ニ之ヲ賣買スルコトヲ得此ノ場合ニハ前項ノ證書ヲ以テスヘシ

第七條 阿片ハ前條ノ外醫師ノ處方箋ヲ以テスルニ非サレハ賣買スルコトヲ得ス

藥劑師ハ政府又ハ他ノ藥劑師ニ於テ封緘シタル容器ヲ開キテ阿片ヲ零賣

スルコ
器ニ納

藥種商

政府又

器ヲ開キ

第八條

處

ノ日付ヨ

シ

第九條

阿片ヲ製造シタル者又ハ第三條第二

地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ

滿十箇年間之ヲ保存スヘ

第第六條ノ證書ハ其

零賣スルコトヲ得ス

於テ封緘シタル容

タルト否トヲ問ハス

場合ニハ適當ノ容

器ニ納



賣人ヨリ購求スヘシ

醫師及製藥者ハ阿片ヲ藥劑師藥種商ヨリ購求シ又ハ藥劑師藥種商互ニ之ヲ賣買スルコトヲ得此ノ場合ニハ前項ノ證書ヲ以テ

第七條 阿片ハ前條ノ外醫師ノ處方箋ヲ以テスルニサレハ賣買スルコトヲ得ス

藥劑師ハ前條ノ藥劑師ニ於テ封緘シタル



他ノ藥劑師ニ於テ開キテ阿片ヲ零賣

スルコトヲ得此ノ場合ニハ適當ノ容器ニ納メ之ヲ封緘スヘシ

藥種商ハ卸賣人タルト否トヲ問ハス政府又ハ藥劑師ニ於テ封緘シタル容器ヲ開キテ零賣スルコトヲ得ス

第八條 處方箋竝ニ第六條ノ證書ハ其ノ日付ヨリ滿十箇年間之ヲ保存スヘシ

第九條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ阿片ヲ製造シタル者又ハ第三條第二

項ニ違背シタル者ハ百圓以上五百圓
以下ノ罰金ニ處ス

第十條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ
製造シタル阿片又ハ政府ノ賣下ケタ
ルニ非サル阿片ハ之ヲ沒收ス

第十一條 第二條第一項ニ違背シタル
者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ
處ス

第十二條 第七條第八條ニ違背シタル
者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 阿片製造人又ハ阿片卸賣人
此ノ法律又ハ其ノ施行ニ關スル規則
ニ違背シタルトキハ地方長官ハ其ノ
許可又ハ指定ヲ取消スコトヲ得

附則

第十四條 此ノ法律ハ明治三十年四月
一日ヨリ施行ス

第十五條 此ノ法律施行ノ日現ニ阿片
製造人タルノ許可ヲ有スル者ハ第一
條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十六條 此ノ法律施行以前地方廳ニ
預リ置キタル阿片ハ之ヲ燒却ス

第十七條 明治十一年布告第二十一號
藥用阿片賣買竝ニ製造規則ハ此ノ法
律施行ノ日ヨリ廢止ス